

後援会だより

「出会い、友情、そして絆」 体育会応援5「フェンシング部」〜親からのメッセージ



菅野 進
(慶嗣/国際文化学部)

ようやく大学の環境にも慣れた様子が電話の向こう側で感じられるようになり、フェンシング部でも、多くの先輩、同期や後輩の皆さんと楽しく充実した毎日を過ごしていることが、ホームページで知ることがで

きます。

小学校6年生からフェンシングを始め現在に至っています。6年生のある日、何気なく町の体育館に行き遊んでいるとフェンシングのコーチから「君は素質がある」と声をかけられたことがきっかけでした。マイナーな競技で興味も全くわかないため、私たち親も本人も数日返事に戸惑うこととなりました。しかし、こ



の出会いが人生を左右するチャンスかもしれないと信じフェンシング競技をすることとなり、中学校と高校生活を過ごしました。何ら成績を残すことができないまま中学の卒業を迎え、本人はフェンシング部の無い普通の高校へ進学を希望していたところへ高校の先生から「もう一度高校でフェンシングに挑戦してみないか」というその情熱に押され入部を決意しました。そこで先生は県内高校を代表する選手へと導いてくれました。同時に「生活指導や人としての生き方」も教えてくれました。先生がよく生徒に言っていた言葉に「二人のフェンサーである前に一人の高校生であれ、一人の高校生である前に一人の人間であれ」と。この言葉の真髄は、強い選手になるためには正しい人間にならなければならず、周囲の人たちの支えや理解が得られ、精神的にも肉体的にも成長し、初めて強くなれることを意味しているように理解しました。この言葉を胸に親子のフェンシング生活が過ぎました。大学進学にあたり先生からおくられた「フェンシングを続けな

さい」との言葉で、大学フェンシング界を常にリードする法政大学に入学。現在に至っています。8年の間、支えてくれた多くの仲間と友情を重ね、ともに向上し強くなることができ、結果を残すことができました。

本学のフェンシング部は常に上位の成績を取ってきました。きっと本人は「試合で本来の技量が発揮されないのではないか」「また伝統に傷がつくのではないか」、そんな不安の中で自分との戦いをしてはいるはずですが、フェンシングのことはあまりよくわかりませんが、私は親として、高校の先生の言葉「二人のフェンサーの前に一人の大学生であれ、一人の大学生の前に一人の人間であれ」を胸にこれからも多くの試合に臨んでほしいと思っています。

これからの人生長いですが出会いが導き、友情が人を成長させ、信頼という絆が人として完成し得る。そのことがフェンシング競技で教えられたらと思います。良いスポーツだと思えます。



関西支部

「六大学野球応援&キャンパス見学を終えて」



支部長
岸松 一人
(淑人/キャリアデザイン学部)

9月11日(土)に関西支部では、記念すべき第一回六大学野球&市ヶ谷キャンパス見学ツアーを一泊二日で実施しました。支部では初めての試みで、希望者が集まるか心配でしたが20人も参加くださり期待に胸をふくらませての出発になりました。当日は猛暑にもかかわらず、神宮球場内野席は満員で六大学野球の盛況ぶりには驚嘆しました。法政大学対早稲田大学は、応援のかけがえがあり我が法政大学が勝利しました。観戦後は、市ヶ谷キャンパスに移動し、最新設備の研究施設や教室、また広い



食堂やガラス張りで美しい学生ホールなどを丁寧に案内していただきました。

見学後は、ボアソナード・タワー26階A会議室にて、池邊会長、久保田副会長、寺林副会長並びにアメリカンフットボール部父母会から5人参加していただき、懇親会を開きました。懇親会では26階からの夜景をバックに会話も弾み楽しい時間を過ごしました。

翌日は、自由行動で子どもと会う人、東京見物を楽しんだ人とそれぞれでした。これを機に第2回、第3回と続けていければと思っております。

東海支部

「六大学野球応援&キャンパス見学」報告



支部長
松原 由実
(健太/工学部)

東海支部は10月2日(土)、六大学野球応援&キャンパス見学を行いました。すがすがしい秋空の下、神宮球場の法政応援席で私たちを迎えてくれたのは、対戦相手、慶應大学のチアリーダーたちでした。この日は試合前に、合同セレモニーが行われ、両校の応援団がエールを交換し合い、いよいよ試合開始です。「絶対に負けられない!」という、選手、応援団の強い思いが私たちにも伝わり、こぶしを振り上げ、選手の名前を絶叫するなどわれを忘れて応援しました。その思いが通じたのか、見事快勝!! 勝利の余韻に浸りながら、市ヶ谷キャンパスに移動し、学食で昼食をとりました。学食では、



明るく広々とした空間の中、バラエティに富んだメニューが低価格で提供されており、学生たちに交じって食事をしていると、まるで学生に戻ったような気分になりました。市ヶ谷キャンパスは限られた土地を有効に使いながらも、緑を多く配置するなど、学生たちが心地よく勉学に励むことができるよう配慮されています。今回キャンパス見学に参加することによって、子どもたちの日々の生活を垣間見ることができ、子どもと離れて生活しているがゆえに抱いていた不安を取り除いてくれました。このような機会が与えられたことに本当に感謝します。最後になりましたが、後援会本部役員の皆さま、事務局の皆さまには大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

山形県支部

「アカデミー合唱団へ、激励・差し入れ」



支部長
鈴木 高行
(真里奈 / 経営学部)

連続猛暑日の記録もやっと途切れ
た9月5日(日)、毎年恒例となっ
ている法政大学アカデミー合唱団の
合宿が行われている蔵王アストリア
ホテルへ、山形市の本沢地区特産の
ぶどうを持って差し入れに行つて参
りました。

蔵王スキー場のゲレンデに立つ抜
群のロケーションと、美味しい空気
と爽やかな風にびつたり素晴らし
いハーモニーの大学校歌に心が洗わ
れる思いでした。100人を超える



ぶどう贈呈



記念撮影

メンバーの中には今年の24時間テレ
ビの黄色のTシャツを着ていた学生
さんの姿もありました。あの、障害
者の皆さんとの感動の大合唱の中
にも法政の学生さんたちが参加して
いたのですね。聞くところによれば、
何年もこの蔵王アストリアホテルで
夏の合宿を行っているとのこと。こ
れからもずっと訪問させていただき
たいと思います。爽やかな感動をあ
りがとうございました。

郡山支部

「応援団夏合宿陣中見舞い」



支部長
中村 弘幸
(優宏 / 経済学部)

郡山支部の毎年恒例(今年で3回
目)となりつつある「応援団夏合宿
陣中見舞い」に8月8日(日)、役
員5人で宮城県鳴子温泉郷まで行っ
てきました。

ホテルロビーで吹奏楽部の緊張感
のある練習に出迎えられ、チアリー
ディング部責任者の松丸さんの案内
で阿部団長と対面、早速おしいお
水とお祝いを手渡ししてきまし
た。差し入れの後、炎天下のグラウ
ンドと、蒸し風呂のような体育館に



支部より差し入れ



記念撮影

案内していただき、リーダー部の激
しい練習、チアリーディング部の新
作、部外初披露!と普段は見ること
のできない練習風景を猛暑の中
(36℃!)当日一緒になった山形県支
部の皆さんと見学してきました。華
やかな応援は、やはり厳しい練習あつ
てのことと感動しつつ、団長と六太
学野球秋季リーグ戦での再会を約束
して鳴子温泉郷を後にしました。

ラグビーオープン戦観戦「法政VS早稲田」



後援会常任幹事

石井 真由美

(達哉/社会学部)

8月21日(土)、ラグビー夏合宿の聖地として知られる長野県菅平高原で、オープン戦が行われました。今年も後援会長野県支部と法政大学保健体育部が選手への激励会を企画し、多数の参加がありました。

今年は早稲田大学の立派な練習グラウンドが会場となり、12時30分からBチーム、Aチームの2試合が行われました。あらかじめ配布された選手名簿とグラウンドの選手ゼッケンを見比べながら、ちよっぴりスカウト気分でした。

当日は冬のスポーツ、ラグビーにはとても厳しい暑さでしたが、選手は力いっぱい走り、パスをつなぎゴールに向かって頑張っていました。時折タックルが決まると、とてもカッコイ



イ!と思いました。試合には負けてしまいましたが、早稲田のように強いチームと戦えたことは、法政のチーム作りにはとても刺激になったと思います。

試合後は、選手と一緒に記念撮影しました。間近で選手をみると大変頼もしい感じがしました。

9月からのリーグ戦での躍進を願っています。そして、来春の1月2日も国立競技場に連れて行ってください。応援しています。頑張ってください!

法政フェアin市ヶ谷キャンパスに参加しました!



後援会総務

渡邊 秀雄

(拓馬/国際文化学部)

猛暑もやつと終わり秋晴れの9月26日(日)に法政フェアが市ヶ谷キャンパスにおいて開催されました。卒業生・学生・保護者・教職員の連合力を強めるための重要な位置づけになっています。「大学に遊びに行こう」に誘われて参加しました。

まずは、学生の案内によるキャンパスガイド、外濠校舎を出発し、富士見坂校舎から法政自慢の図書館へそして58年館・55年館へと移動し地下にある学生に優しい食堂・購買部を見学、最後はポアソナード・タワーの26階から都心を一望し、環境のよさを実感しました。学生でしか感じられないことを紹介してもらい学生

生活に触れ、卒業生からは「懐かしい、この場所覚えてる。ここは綺麗になった」など今と昔を楽しんでいました。学生団体による発表は、創造性と若さあふれる熱気を感じ頼もしく、また外濠校舎での「先生に再会しよう」は教室のいすに座り授業の体験を久しぶりに味わいました。中央広場では応援団のデモンストレーションと神楽坂商店街の協力による食べ物コーナーがあり、祭りのようなにぎわいを楽しみ、「我が母校」に一步近づいた一日になりました。



後援会ホームページのご案内

URL: <http://www.hosei-koenkai.org/>

また、法政大学のホームページを開いていたとき、オレンジのインデックスの「保護者の方」をクリックしていただいてもアクセスできます。是非一度ご覧になってみてください。

「携帯メール情報」の配信案内

koenkai-reg@ml.hosei.ac.jp

法政大学後援会は、メールマガジンを発行しています。六大学野球、甲子園ボウル(アメフト)などのスポーツ情報、講演会などイベント情報を提供しています。一人一人の力は小さくても、一致団結して盛り上げて行きましょう。配信ご希望の方は、上記アドレスへ「メールマガジン配信希望」とお書きになり、登録されるメールアドレスをお送りください。